

第11回全国和牛能力共進会宮城大会 宮城県代表牛(肉牛の部)一覽

区分	出品条件		名号	生年月日	父牛	母の父	母の祖父	所有者	
	生後月齢(生年月日)	出品単位						住所	氏名
第7区 (総合評価群)	24カ月未満 [P27.9.8以降]	肉牛群 (3頭)	登米牛号	平27.9.25	好平茂	勝忠平	金幸	登米市	金野康
			咲花号	平27.9.20	好平茂	第1花国	安平	大崎市	高橋猛
			俊光号	平27.9.8	好平茂	平茂勝	神高福	大和町	根元仁一
第8区 (若雄後代 検定牛群)	24カ月未満 [P27.9.8以降]	群 (3頭)	桃義久号	平27.9.30	好福久	茂洋	勝忠平	川崎町	菅生貞夫
			好福洋号	平27.9.19	好福久	好福久	勝忠平	登米市	千葉敏
			隆好久号	平27.9.10	好福久	茂洋	平茂勝	登米市	千葉正憲
第9区 (肥育去勢牛)	24カ月未満 [P27.9.8以降]	単品 (2頭)	宮勝洋号	平27.10.3	勝洋	茂勝	平茂勝	登米市	金野康
			宮勝洋号	平27.9.8	勝洋	第1花国	北国7の8	角田市	馬場茂



出品代表牛の認定を受けた肥育者ら。左から金野康さん、根元仁一さん、高橋猛さん、菅生亮太さん、千葉敏さん、千葉正憲さん、馬場茂さん

9月7日~11日 全国和牛能力共進会

日本一獲得へ出陣

「第11回全国和牛能力共進会宮城大会(全共宮城大会)」に出品する県代表牛が決定し、「種牛の部」に20頭、「肉牛の部」に8頭が出品される。全出品区で上位入賞を目指すほか、両方の部で一つずつ首席を獲得しようと、これまでも「オール宮城」で取り組んできた。代表牛が決まった今、ブランド「仙台牛」が地域活性化に弾みをつけるよう、士気を高めて大会に臨む。

代表牛そろい踏み ブランド「仙台牛」で挑む

全共は、全国から優れた和牛を一堂に集め、改良の成果やその優秀性を競う全国大会で、5年に1度開かれる。「和牛のオリンピック」とも呼ばれる好成績を収めることは和牛ブランドの市場価値を全国的に高めることに通じている。

11回目となる宮城大会は、9月7~11日に開催される。今回のテーマは「高めよう生産力、伝えよう和牛力、明日へつなぐ和牛生産」。39道府県から過去最多の513頭が出品され、来場者数は39万人を見込んでいる。

宮城では、ブランド肉「仙台牛」を県内外に発信するとともに、全国からの来場者に県の魅力を幅広くPRする。また、東日本大震災からの復興状況と支援への感謝を伝える大会としていく。

肉牛の部

今大会は、生産効率の向上を目指す繁殖能力、産肉能力の改良に取り組み、現場に生かしていくことを強く推し進めている。肉牛の部では新たな審査基準を採用し、脂肪の質に着目した評価体制の充実を図るとともに、消費者が求める「おいしい和牛肉」を追求する。

また、熟度を併しなら早期に仕上げる技術が評価される。肉牛の部の区分も各出品区の狙い、その中から第7区(総合評価群)を紹介する。

第7区総合評価群(肉牛群3頭)

仙台牛で頂点を 登米市・金野康さん、大崎市・高橋猛さん、大和町・根元仁一さん

全共宮城大会宮城県最終選考(肉牛の部)が先ごろ、みやぎ総合家畜市場で開かれ、肉牛の部代表牛8頭が決まった。第7区総合評価群(肉牛群3頭)に選ばれた登米市の金野康さん(58)、大崎市の高橋猛さん(68)、大和町の根元仁一さん(60)は「県代表」となり重責を担うが、やれることを最大限に尽くし「挑みたい」と意欲を高めている。

第7区は、種牛能力と産肉能力を総合評価する出品区で、同一の県産種牛の産子で、種牛群(4頭)と肉牛群(3頭)合わせて1群として評価する。肉牛群は生後月齢24カ月未満を出品条件に掲げ、早期に肉質を仕上げる高度な肥育技術が求められる。

県では宮城の名山「茂洋」の初めての後継牛で、現場後代検定成績で県歴代最高となった「好平茂」の産子代表牛に決定。全共宮城大会出品に名乗り

第8区(若雄後代検定牛群)

第8区は、次の世代を担う能力の高い若い種雄牛の発掘と、現場後代検定の普及推進を狙っている。

個人またはグループによる出品で、同一種雄牛の産子で、同種雄牛3頭を1群として出品する。県では「好福人の産子で上位入賞を目指す。出生の父牛には年齢の制限が設けられるほか、産肉能力について一定以上の水準が求められる。

第9区は、効率的な肉牛生産に向け、和牛の肉用性としての能力の追求と、それを最大限に引き出す肥育技術の研さんを

第9区(肥育去勢牛)

目的としている。個人による個体出品で、2頭の去勢肥育牛を単品として出品する。県では「好平茂」に次ぐ2頭目の「茂洋」後継牛「勝洋」の産子を出品すると決定。牛の父牛には年齢の制限が設けられ、産肉能力について一定以上の水準が求められる。

肉牛の部は、出品条件に「生後月齢24カ月未満」を掲げている。早期に肉質を仕上げる肥育技術が求められるため、実行委員会では出品に取り組み肥育者すべての協力を得て、これまで2回、早期肥育試験を実施してきた。

残り1カ月、開催地宮城県の機運がさらに高まっている。「オール宮城」で日本一に挑む。

仙台牛で頂点を

を上げた肥育者11のもとで28頭が肥育され、その中から3頭を選定した。

3頭は、最終審査時の生体審査で、体高の発育や伸びが良く、増体も大きく、肥育が進んでいる状態を感じさせた。2カ月ごとに実施された巡回調査時の生体審査、超音波肉質診断、血液検査でも数値が優れ、出生体重の差を確実に克服した。

今後は優れた肉質を追求し、より綿密な仕付けに入るが、管理は肥育者自身に任せられる。代表牛となる自分だけの問題ではなく、平常心を保ち頂点を狙いたいという。



巡回調査時の超音波肉質診断



第7区代表牛の登米号(左)

2017年7月みやぎ総合家畜市場子牛市場成績 (税込み円)

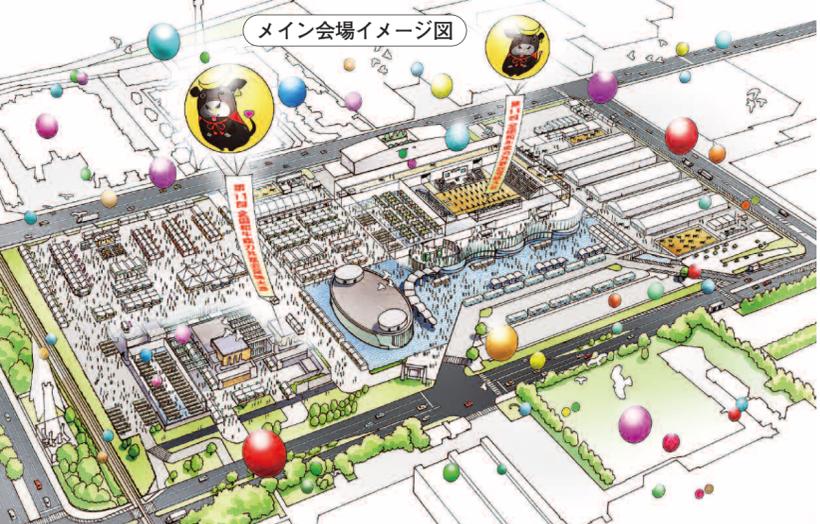
開催月日	性別	取引頭数	平均価格			前回成績		上場地区	
			①	平均	キロ	②	①-②		
7月11日 (1日目)	雌	187	670.357	306	2,191	222	754.166	▼83.809	みやぎ登米・南三陸・あさひな・名取岩沼・みやぎ亶理
	去	228	803.529	336	2,395	211	860.622	▼57.093	
	計	415	743.521	322	2,307	433	806.042	▼62.521	
7月12日 (2日目)	雌	195	718.305	304	2,364	221	753.258	▼34.953	栗っこ・みどりの・仙台
	去	230	849.453	331	2,565	197	884.547	▼35.094	
	計	425	789.279	319	2,477	418	815.134	▼25.855	
7月13日 (3日目)	雌	187	700.239	296	2,368	193	735.765	▼35.526	加美よつば・いわでやま・古川・みやぎ・仙南・いしのまき・農業振興公社
	去	212	867.734	330	2,629	189	888.554	▼20.820	
	計	399	789.234	314	2,514	382	811.360	▼22.126	
7月計	雌	569	696.609	302	2,308	636	748.267	▼51.658	-
	去	670	839.610	332	2,527	597	877.360	▼37.750	
7月計	計	1,239	773.938	318	2,431	1,233	810.772	36.834	

(注) 平均価格、キロ単価の小数点以下は四捨五入。「▼」は安値を示す。前回成績は上場地区ごとの対比。

9月7日(木)~11日(月)の5日間
種牛の部: 夢メッセみやぎ(仙台市)
肉牛の部: 仙台市中央卸売市場食肉市場(仙台市)



※肉牛の部会場は、一般の方は入場できません



メイン会場イメージ図



購読申込先

NOSA | 宮城
仙台市青葉区上杉
1丁目8番地10号
〒980-0011
電話022(225)6701
http://www.nosamiyagi.or.jp/

